

令和7年度 南房総市地域公共交通活性化協議会事業報告

○会議開催

月日	内容
R7.7.17 (木)	第1回 法定協議会 (書面開催) (1) 協議会規約の一部改正について 【協議第1号】 (2) 令和6年度協議会事業報告について 【協議第2号】 (3) 令和6年度協議会決算報告について 【協議第3号】 (4) 令和7年度協議会事業計画(案)について 【協議第4号】 (5) 令和7年度協議会予算(案)について 【協議第5号】 (6) 南房総・館山地域公共交通活性化協議会について 【報告第1号】
R8.1.26 (月)	第2回 法定協議会 (於：南房総市役所別館1大会議室) (1) 市営路線バス(北三原線)について 【協議第6号】 (2) チョイソコまるやまの実証運行拡大について 【協議第7号】 (3) 自家用有償旅客運送登録(南房総市社会福祉協議会について) 【協議第8号】 (4) 南房総・館山地域公共交通計画について 【報告第2号】 (3) 南房総・館山地域公共交通活性化協議会について 【報告第3号】

○主な事業報告

①チョイソコまるやまの実証運行について

今回の実証運行は、その予約制乗合送迎サービスの仕組みを利用することで費用を抑えながら、路線バスの本数が少なく、タクシー事業者も撤退してしまった南房総市丸山地区において、買い物需要等に対応する移動手段の確保、鉄道駅や地域間幹線系統のバス路線に接続できるよう運行エリアを設定し、当該地域の新たな交通手段の検証を目的として実施した。

令和5年12月から令和8年3月まで実証運行を行い、令和7年度の平均は3.95人となったが、令和8年3月をもって混乗バスの市営路線バス(北三原線)が廃止となることから、令和8年度は運行エリアを和田地区に拡大し「チョイソコわだまるやま」として実証運行を継続することとした。

②南房総・館山地域公共交通活性化協議会について

合同協議会では、令和7年度事業として、主に次の三つの事業を実施しました。

②-1 チョイソコ南房総・館山の本格運行

- ・令和5年10月2日より本格運行(4条乗合)へ移行し、1年間の運行を行った。

②-2 「第2期南房総・館山地域公共交通計画」を策定

- ・令和8年3月をもって交通計画の期間が終了することから「第2期南房総・館山地域公共交通計画」を策定した。これに伴い、館山地域公共交通計画及び南房総市地域公共交通計画は期間終了により合同計画に一本化とした。

②-3 南房総・館山地域公共ライドシェアの実証運行

- ・実施期間：令和7年3月～(運行時間21時～1時)
- ・実施内容：交通空白時間帯の移動手段の確保を目的に検証を兼ね、実証運行を継続した。

③広報活動について

令和7年度では、広報「みなみぼうそう」に交通に関する啓発を掲載しました。

- ・12月号に高校生通学費情勢制度、3月号にチョイソコわだまるやま実証運行について

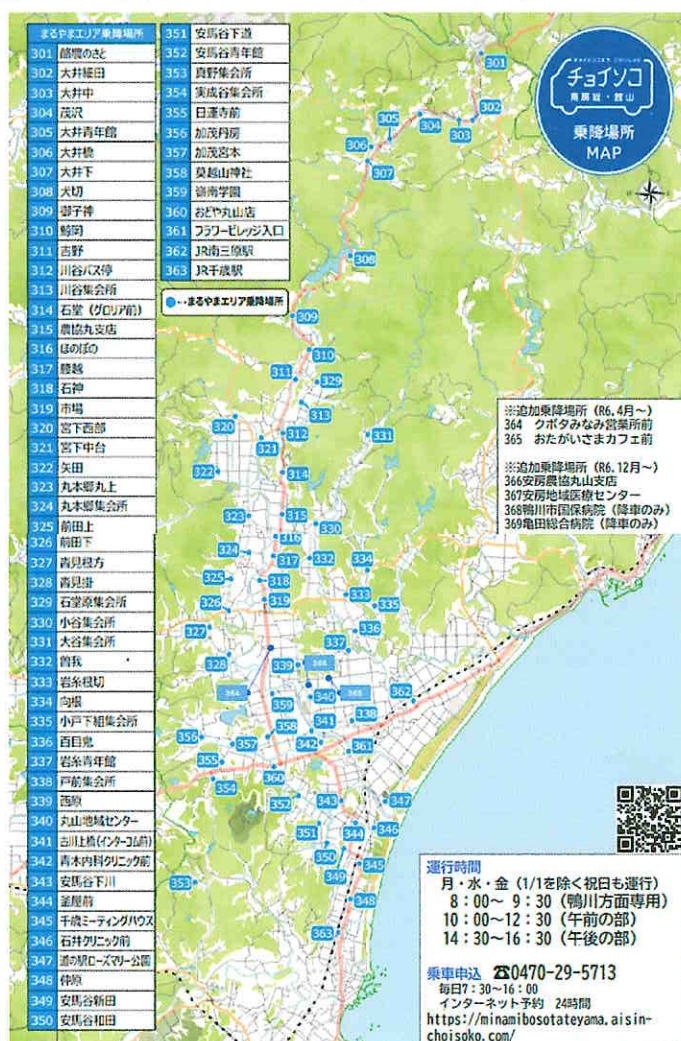
チョイソコまるやまの運行状況について（令和7年度実績報告）

R8.3.31 現在

1 運行概要

運行形態	区域運行による「チョイソコ南房総・館山（丸山エリア）」の運行
運行経路の概要	- 運行区域—南房総市丸山地区全域、JR 南三原駅及び JR 千歳駅（区域外） 亀田総合病院、鴨川市国保病院、安房地域医療センター - 運行方法—電話予約等によるデマンド方式による乗合運行
運行時間帯	- 午前 8 時 00 分から午前 9 時 30 分まで（鴨川方面専用時間） - 午前 10 時 00 分から午後 0 時 30 分まで（午前の部） - 午後 2 時 30 分から午後 4 時 30 分まで（午後の部） ※丸山地区内は午前 10 時から乗車ができ、午後 4 時 30 分に降車ができるように運行
運 行 日	月・水・金（1/1 を除く祝日運行）
乗降場所数	63 か所（以下、乗降場所MAP 参照）
運 賃	1 回 300 円 （亀田総合病院 1,500 円、鴨川市国保病院 700 円、安房地域医療センター 700 円） 運転免許経歴証明書・障害者手帳の提示で半額
運行車両	セレナ 1 台（利用定員 6 名）
委託事業者	システム：株式会社アイシン（チョイソコ） ※チョイソコ南房総・館山のシステムを活用 運行事業者：鏡浦自動車株式会社
その他	会員登録：WEB 又は申込書による（会員証の発行有） 予約方法：電話又は WEB による 決済方法：現金 その他：南房総市高齢者外出支援バス利用助成券の利用可

乗降場所MAP

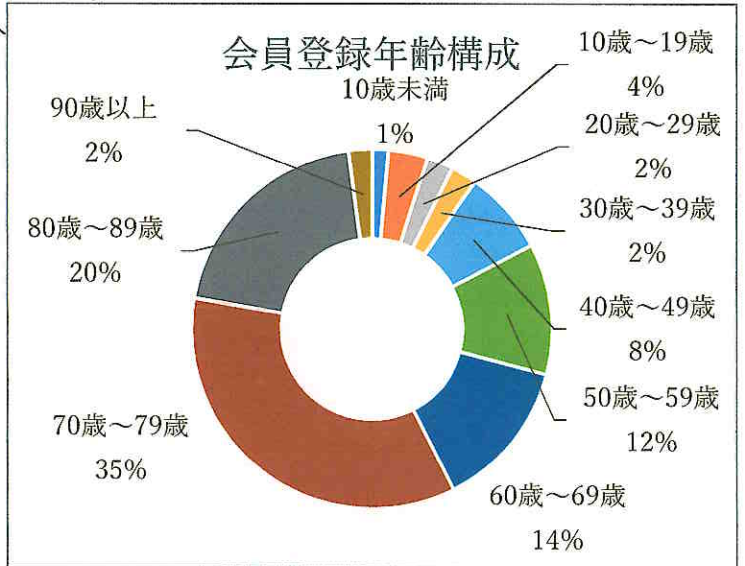


2 令和8年3月31日までの実績（R4.10～）

（1）チョイソコ南房総・館山会員登録状況（4月1日時点）

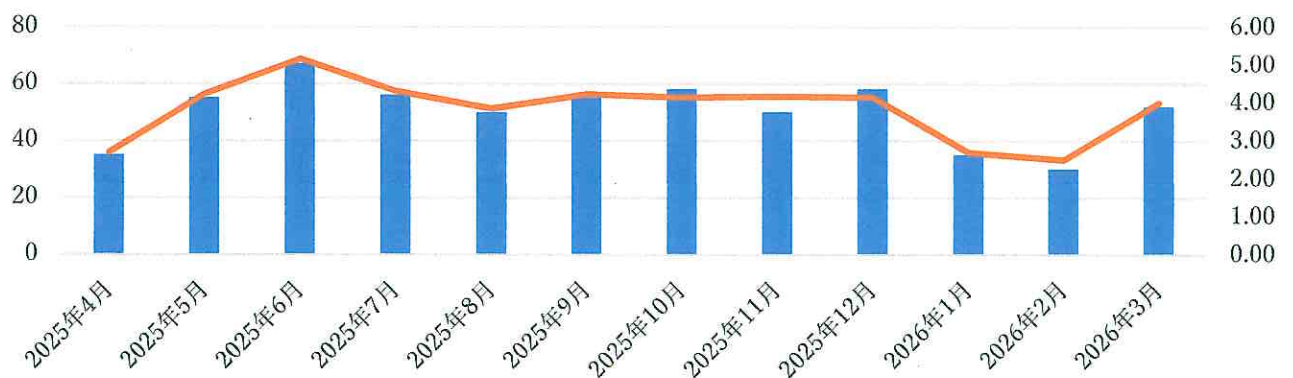
※南房総市内のうち丸山地区住所登録者：108人

登録者数		666人	割合
性別	男性	246人	37%
		60歳以下	88人
		61歳以上	158人
	女性	416人	63%
		60歳以下	121人
		61歳以上	295人
居住地	南房総市内	340人	51%
	館山市内	145人	22%
	その他	181人	27%



（2）チョイソコまるやま利用実績（運行日数156日・利用者数601人・平均3.95人）

チョイソコまるやま 利用者推移

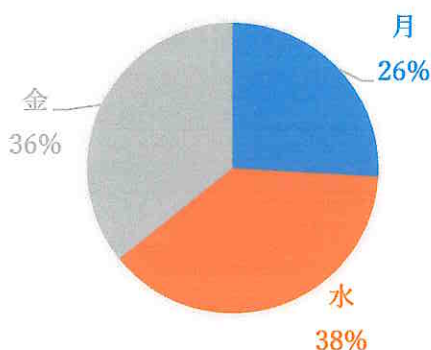


	2025年4月	2025年5月	2025年6月	2025年7月	2025年8月	2025年9月	2025年10月	2025年11月	2025年12月	2026年1月	2026年2月	2026年3月
実績人数	35	55	67	56	50	55	58	50	58	35	30	52
1日平均	2.69	4.23	5.15	4.31	3.85	4.23	4.14	4.17	4.14	2.69	2.50	4.00

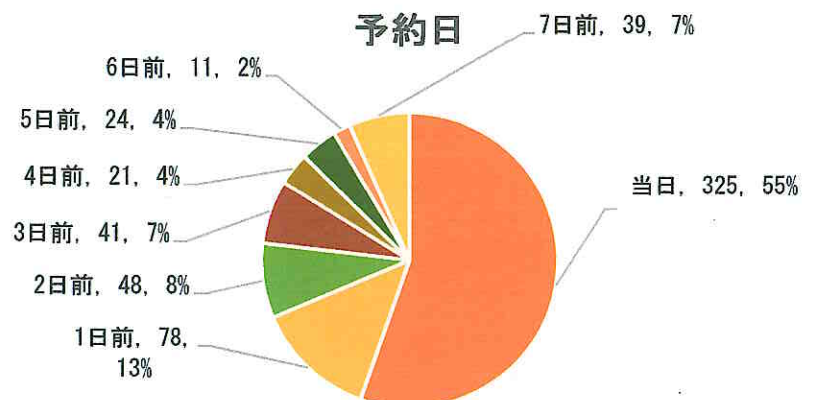
■ 実績人数 ■ 1日平均

（3）曜日別利用状況及び予約日

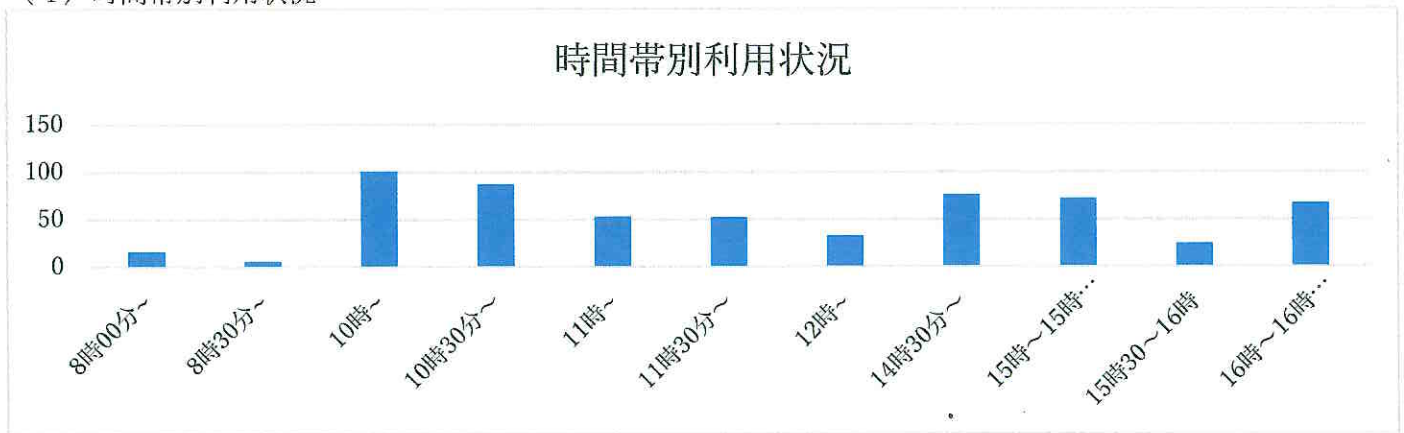
曜日別利用状況



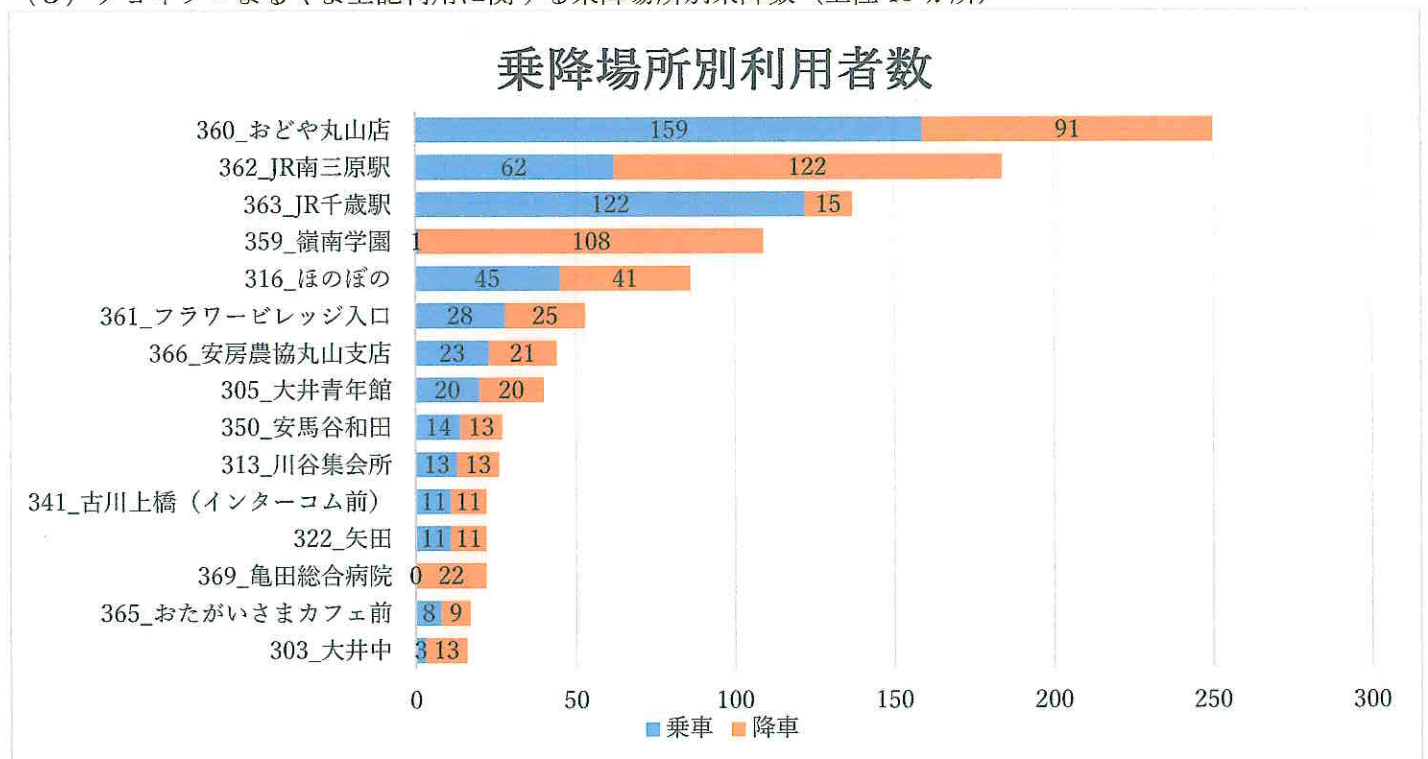
予約日



(4) 時間帯別利用状況



(5) チョイソコまるやま上記利用に関する乗降場所別乗降数（上位 15 ヲ所）



(6) 実施結果

令和7年度期間中の利用者は、のべ601人であった。(1日平均3.95人)。お買い物等に毎週ご利用いただく方がいるため、昨年度より平均人数が増加傾向にある結果となった。丸山地区の会員登録は、108名いたが、実際に利用した人は、24名と少なかった。主な要因は、周知している中で、定期の利用者が増え、毎週利用していただくなど、少しずつ利用増がみられた。一方で、亀田病院方面は1～2名の毎月利用にとどまり少ない傾向となった。

次年度は、スクール混乗バス北三原線の廃止に伴い、隣の和田地区に運行エリアを拡大し、両地区の移動手段の確保に努めるべく、引き続き実証運行を行いながら検討していきます。

※参考

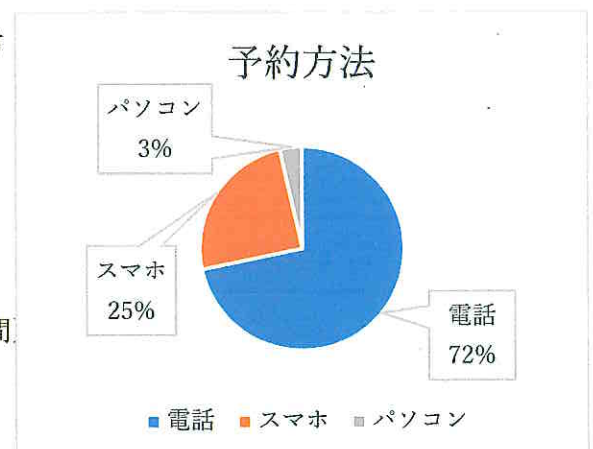
(6) その他取組み

運行エリアの拡大 (R6.12～)

- ・区域外乗降場所の設定：亀田総合病院、鴨川市国保病院、安房地域医療センター
- ・区域内乗降場所の追加：安房農協丸山支店

運行時間の変更

- ・午前 8 時 00 分から午前 9 時 30 分まで (鴨川方面専用時間)
- ・午前 10 時 00 分から午後 0 時 30 分まで (午前の部)
- ・午後 2 時 30 分から午後 4 時 30 分まで (午後の部)



令和7年度収支決算書

収入総額 8,241,386 円

支出総額 8,241,386 円

差 引 0 円

1 収入の部

単位:円

科 目	決算額	予算額	予算に対する 増減	説 明
1 市負担金	8,239,486	8,576,000	△ 336,514	南房総市負担金
2 県補助金	0	0	0	
3 国庫補助金	0	0	0	
4 諸収入	1,900	0	1,900	預金利息
合計	8,241,386	8,576,000	△ 334,614	

2 支出の部

単位:円

科 目	決算額	予算額	予算に対する 増減	説 明
1 事務費	25,390	20,000	5,390	振込手数料、収入印紙代
2 事業費	8,215,996	8,556,000	△ 340,004	チヨイソコまるやま実証運行事業費
3 予備費	0	0	0	
合計	8,241,386	8,576,000	△ 334,614	

会計監査報告書

令和7年度南房総市地域公共交通活性化協議会歳入歳出決算について、令和8年8月4日に監査を実施し、関係書類を精査した結果、付属書類は帳簿と相違なく、適正に処理された内容であると認め、報告します。

令和8年8月4日

監査委員 中川 行雄 ㊞

監査委員 鈴木 賢二 ㊞

※両監査委員には、報告書に自署・押印をいただいておりますが、
個人情報保護（印影）のため原本の添付は差し控えております。

実施事業別の進捗状況（令和8年3月現在）

事業	実施主体	進捗状況	備考
(1) 拠点連携を支援する地域内交通システムの検討（白浜千倉館山線）	南房総市 交通事業者 地域住民	○	令和5年4月1日現在でダイヤ改正を行った。安房地域医療センターでの館山鴨川線との接続を可能とし、鴨川方面の利便性向上を図った。
(2) 高速バスの1次交通としての充実・利用促進			
①「ハイウェイオアシス富楽里」及び「とみうら枇杷倶楽部」相互間における乗降可の実現	高速バス事業者 南房総市	×	引き続き、バス事業者と調整を図りたい。
②高速バス全便の一般道における一般乗降制度の実施	高速バス事業者 南房総市	×	これまでジェイアールバス関東(株)の路線（南房州本線、洲の崎線）にて一部実施していた。（令和6年3月まで）
③千倉地区のP&B駐車場を活用した高速バスの路線見直しによる千倉発着便の増便	高速バス事業者 南房総市	×	引き続き、バス事業者と調整を図りたい。
(3) 廃止代替バス路線の運行方法の変更と新たな交通システムの支線運行	南房総市 交通事業者	○	南房総・館山地域公共交通活性化協議会において、乗り合い送迎サービス「チョイソコ南房総・館山」を実証運行を経て、令和5年10月より本格運行へ変更した。
①平群線・丸線の路線短縮・運行方法の変更	南房総市 交通事業者	○	南房総・館山地域公共交通活性化協議会において、令和5年度に新たな交通システムの実証運行を実施、今後の運行方法を検討中。
②豊房線の運行方法・運行車両の検討	南房総市 交通事業者	×	未実施
③小規模需要地域の新たな交通システムによる支線運行の実施	南房総市 交通事業者	×	未実施
(4) 市営路線バス及び交通空白地域における多様な交通システムの運行方法の検討			
①地域住民主体の地域交通構築のためのキーマンの育成	南房総市 地域住民	×	未実施
②小規模需要地域における地域の協力を前提とした協定方式による検討	南房総市 交通事業者 地域住民	×	未実施
③交通空白地域における多様な交通システムの運行の検討	南房総市 交通事業者 貨物運送事業者 地域住民	○	バス事業者と連携した貨客混載の取り組みは、これまでの高速バス千葉便のちばシティバスほか、令和3年よりジェイアールバス関東や日東交通が運行する高速バスでも実施している。 南房総・館山地域公共交通活性化協議会において、交通空白時間帯に係る多様な交通システムの一つとして、令和7年3月から南房総・館山地域公共ライドシェアの実証運行を開始した。
④交通事業者が地域交通に対するインセンティブを付与する取組	南房総市 交通事業者 地域住民	×	未実施
(5) 交通結節点の機能強化			
①白浜地区におけるバスターミナルの機能強化	南房総市 交通事業者	△	令和5年度末に安房白浜駅を利用する路線バス等の時刻表をまとめたチラシを作成した。（毎年更新）このほか、引き続き利用促進策を検討していく。
②その他・道の駅等の交通結節点としての整備	南房総市 交通事業者	△	令和3年度に平群線・丸線の実証運行において、三芳分庁舎を交通結節点とする取り組みを行った。 市営路線バス富山線を道の駅富楽里とみやまに全便乗り入れるようダイヤ改正を行った（令和5年10月）
③バスロケーションシステムの導入	南房総市 交通事業者	△	富楽里、枇杷倶楽部のバス停で乗り継ぎができるよう情報発信を行っている
(6) 駅舎（ホーム）のバリアフリー ○ホームのバリアフリー化	南房総市 鉄道事業者	×	千葉県JR線複線化等期成同盟を通じて県とともに要望活動を毎年、行っている。
(7) 地域住民・来訪者等利用者にわかりやすいデザインの導入	南房総市 バス事業者	△	市営路線バス富浦線の車両更新の際に、分かりやすい色を選択したほか、統一デザインを導入した。
(8) サイクルアンドバスライドの拡大	南房総市 バス事業者	×	未実施
(9) 多様な運賃制度の導入			
①運転免許証の自主返納制度による特典の充実	南房総市 交通事業者 観光事業者 商業者等	△	運転免許返納後の公共交通の利用に際し、高齢者のバス又はタクシー外出支援事業の周知を市広報誌で行った。
②公共交通利用者の主流となる高校生に対する通学支援	南房総市 交通事業者	○	令和5年9月分より高校生等通学費助成事業を開始した。（継続中）
③地域内交通の共通運賃や乗り継ぎ割引料金の設定	南房総市 交通事業者	○	南房総・館山地域公共交通活性化協議会において、令和5年4月1日から利用できるWE B乗車券（1日乗車券、回数乗車券）の販売に向け、取り組んだ。
④企画切符等の販売	南房総市 交通事業者 観光事業者 商業者 レジャー事業者等	○	南房総・館山地域公共交通活性化協議会において、WE B乗車券（1日乗車券、2日乗車券、回数乗車券）を令和7年度も販売した。（継続中）
(10) 公共交通利用促進への意識啓発	南房総市		
①シンポジウム・ワークショップ・アンケートの実施	交通事業者 教育委員会	○	令和6年度の南房総・館山地域公共交通活性化協議会において、市民アンケート調査を行った。
②南房総市への転入者へのPR	南房総市	○	市民課窓口では、転入者に対し、公共交通マップの配布を行っている。
③交通事業者等による市内幼稚園、小学校でのスマート交通教室の実施	南房総市 交通事業者 教育委員会	×	未実施
(11) 交通系ICカードやPaypay、WAONカードなどを活用したキャッシュレス化の促進	南房総市 バス事業者	○	南房総・館山地域公共交通活性化協議会において、令和5年度中に南房総地域におけるキャッシュレス動向調査を行った。令和7年3月末に民間バス路線全線でICカードが利用できるキャッシュレス化が導入された。
(12) B, B, BASEやレンタサイクル等、観光利用促進に向けた取組	鉄道事業者 バス事業者 南房総市	△	令和7年4月19日（土）に「B, B, BASEで行く 早春の南房総モニターツアー」が開催され、一般社団法人南房総市観光協会が協賛し、ツアー化が図られた。

※進捗状況については、以下の基準にて事務局で判定した。

○：進捗が概ね6割以上と判断できる事業 △：進捗が概ね2割以上と判断できる事業 ×：進捗が2割未満又は、未実施の事業

南房総市地域公共交通計画の評価指標について

【令和7（2025）年度末の状況報告】

評価指標	指標の定義	現況値 (2018)	2025	達成率	目標値 (2025)	経過状況
年間バス利用者数	高速バスを除く市内を運行するバス路線の年間利用者数	359,499人	296,757人	82.5%	現況値の現状維持	人口減少のほか、コロナ禍における路線バス利用者離れが回復しない路線があり、目標値より△17.5%となった。
年間観光客数	道の駅等の主要観光施設の年間観光入込客数	5,026千人	4,471千人	89.0%	現況値の現状維持	コロナ禍における観光流動の減少が顕著に現れた結果となった。
市財政負担額	市営路線バス利用者1人当りのバス運行に係る市の年間財政負担額	27,106円	38,512円	70.4%	現況値の金額の範囲内	利用者減少、人件費や修繕費等の経費の増加により、市負担額が増えた結果となった。
利用者の満足度	アンケート調査による地域公共交通に対する満足している人の回答割合（高速バスとの接続について）	14.4%	16.4%	82.0%	20%	令和6年度において市民アンケート調査を行い、16.4%で目標値には届かなかったが、現況値より増えた結果となった。
高齢者の外出回数	アンケート調査による高齢者の1週間当りの平均外出回数	2.1回	2.4回	76.8%	3.1回	令和6年度において市民アンケート調査を行い、2.4回で目標値には届かなかったが、現況値より増えた結果となった。
運転免許証返納件数	運転免許証返納件数	361件	349件	49.9%	700件	令和7年の館山署管内実績値
渋滞緩和	国道127号（富浦IC～福沢交差点）の平均旅行速度（平成27年度道路交通センサス上り方向）	16.5km/h	16.6km/h	—	25 km/h	令和3年度調査の数値 （5年に1回の調査だが、コロナ禍のため、令和2年度の予定が1年延期された）

1日平均利用者数		H30	R07	H30-R07
幹線	市内線	306	251	-55
	館山・千倉線	49	65	16
	千倉・白浜線	106	81	-25
	館山・鴨川線	130	134	4
	豊房線	28	26	-2
	南房州本線	294	199	-95
支線	富山線	23	19	-4
	富浦線	3	5	2
	丸線	22	31	9
	平群線	21	0	-21
		982	811	-171